

地域の実態にあわせて 解決策を考えてみよう

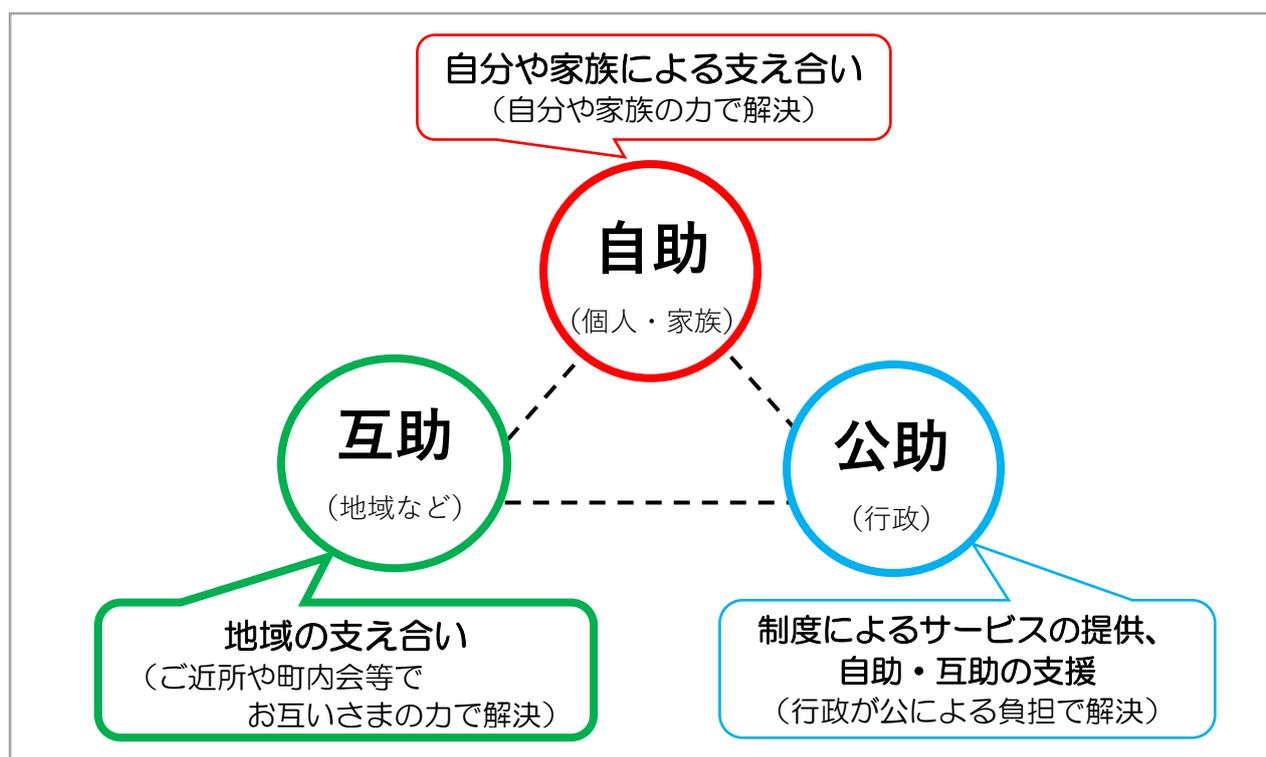


ふくしのまちづくり プロジェクト

年を重ねても、障がいがあっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けたい。そのためには自助・互助・公助が、それぞれの役割を果たすことが大切です。

社会福祉協議会では、地域の支え合い活動（互助）を広げる活動に取り組んでいます。

お住まいの町内会で実態調査を行い、将来に備えて、地域の特性や課題・ニーズに応じた支え合い活動を考えてみませんか？



※町内会を対象に実施しています。

※ふくしのまちづくりプロジェクトの流れや、実態調査後の活動例などは裏面をご覧ください。

【問い合わせ・申込先】 **志免町社会福祉協議会**

TEL : 092-937-3011 FAX : 092-936-9067

MAIL : shime@shime-shakyo.or.jp



この事業は、志免町社会福祉協議会が生活支援コーディネーター活動の一環として
志免町役場福祉課と協力しながら実施しています。

裏面もご覧ください

【ふくしのまちづくりプロジェクトの流れ】

大まかな流れ	詳細
ふくしのまちづくりプロジェクトについて説明	<ul style="list-style-type: none"> ● 社協から説明に伺いますので、会場の手配や参加者の呼びかけをお願いします。 ● ふくしのまちづくりプロジェクトを実施するかを町内会でご検討ください。
アンケートの内容検討	<ul style="list-style-type: none"> ● 実態を把握するために、アンケートの対象者や内容などを話し合います。社協職員も参加し、他地区の情報提供などを行います。
アンケート実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 話し合いの結果をもとに、社協でアンケートを作成・印刷します。 ● 町内会でアンケート調査を実施してください。
アンケート結果の共有	<ul style="list-style-type: none"> ● 社協でアンケート結果を分析します。分析結果を町内会へご説明します。
アンケート結果を踏まえた活動を検討	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケート結果を踏まえて、町内会の実態に即した活動を検討していきます。社協職員も参加し、必要な情報提供などを行います。

【アンケート調査後の活動例】 ※実際に活動を行った町内会の様子をご紹介します。

1. 既存の活動を強化する



鏡町内会

- アンケート結果で早急な支援が必要な人は少なかったことから、見守り活動などの既存の活動を充実させることに決まりました。
- 見守り活動に関する勉強会を行い、記録用紙の見直しや情報共有の場について話し合いました。

2. 地域の特性や課題・ニーズに応じた活動を始める



成和町内会

- アンケート結果で少数でも支援を必要としている人がいたことから「成和支え愛クラブ」を立ち上げ、日常のちょっとしたお手伝いや居場所活動を始めることに決まりました。
- 活動に賛同してくれるボランティアを募集して説明会を行う予定で、活動開始に向けた準備をしています。



王子八幡町内会

- アンケート結果で早急な支援が必要な人は少なかったものの、高齢化率も高く数年後には困りごとが他人事でなくなるので、元気なうちに支え合いのしくみを考えることに決まりました。
- 王子サポート隊を結成し、日常のちょっとしたお手伝いや見守り活動に協力してくれるボランティアを募集しています。